

## 県政出張トーク実施結果報告

部局課室名	県土整備部 道路管理課	テーマ	歩道のユニバーサルデザイン ・ 甲府駅南口周辺の歩道について ・ 歩道と車道の問題点
実施日時	平成23年11月9日(水) 10:00~12:15	実施場所	甲府駅エ克蘭5階 ホール (現地調査: 甲府駅南口周辺)
県出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県土整備部長</li> <li>・ 県土整備部技監</li> <li>・ 道路管理課長</li> <li>・ 中北建設事務所長</li> </ul>	参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山梨県身体障害者連合福祉会 3名</li> <li>・ 山梨県車いす生活者の会 3名</li> <li>・ 山梨県視覚障害者福祉協会 5名</li> <li>・ 山梨大学大学院医学工学総合研究部 1名</li> </ul>
主な発言内容		県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《県視覚障害者福祉協会》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ このように我々の意見を聴いていただく場を提供して頂き感謝申し上げます。</li> <li>・ 広い歩道で、自転車がスピードを出して通行している。自転車の専用レーンを設置してそちらに自転車を通行させてほしい。</li> <li>・ 放置自転車が多く、歩道の幅が狭くなっている。また、点字ブロックの上に放置してある自転車もあり大変迷惑している。</li> <li>・ 他県では条例化して、歩道上の放置自転車を排除している。甲府駅前も検討してほしい。</li> </ul>		<p>(10:00~10:50) 現地調査 (11:00~12:15) 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚障害者、車いす生活者の立場で、現状の南口周辺の歩道について、問題点等のご意見をいただき、甲府駅南口修景計画の参考とさせていただきたい。</li> <li>・ 歩道における自転車の通行の仕方については、自転車専用レーンも含め検討していく。</li> <li>・ 放置自転車の問題は、甲府市による条例化が必要と思われる。駐輪場の問題も含め甲府市や関係機関と調整を進める。</li> </ul>	

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・弱視の立場では、点字ブロックの色について考えてほしい。点字ブロックが周りの舗装ブロックの色と同化していて目立たない。</li> <li>・現状のバスレーンは、バス、タクシー、一般車両が混在しているので、各バスレーンへ移動するのが怖い。</li> <li>・バスの乗車場所は、決められているが、降車場所は、開いているレーンに止められるので、視覚障害者にはどこでおりているのか分からず、困っている。降車場所が一箇所になるような計画を検討してほしい。</li> <li>・点字ブロックとエスコートゾーンの間を狭くしてほしい。</li> <li>・細街路部の歩道の連続については是非進めてほしいが、細街路部の位置を理解するためエスコートゾーンなどを交差部に設置してほしい。</li> <li>・歩道のタイルは凹凸があって点字ブロックの誤認や杖が突っかかる。</li> </ul> <p>《車いす生活者の会》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信玄公前の歩道は、舗装面が凸凹なので車いすには通行しにくい。</li> <li>・景観のためのタイルは滑りやすい、石畳の歩道は、がたがたして最悪である。</li> <li>・信玄公前、山交前の勾配がきついので、通行しにくい。</li> <li>・放置自転車が歩道の幅員を狭めている。排除できる仕組みを考えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字ブロックの色については、景観の問題もあるが、識別ができないと意味がない。設置基準の輝度なども含め今後検討を進める。</li> <li>・バスの乗降場所については、バス事業者にもご意見を伝えながら今後の計画において検討を進めたい</li> <li>・エスコートゾーンは、公安委員会と協議しながら進めている。設置方法については、意見を参考にしていきたい。</li> <li>・舗装の形状については、凹凸、滑りにくい等のことも踏まえ材料の選定等の参考としたい。</li> <li>・計画の中で、勾配がきつくなならないよう検討を進める。</li> </ul>	

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年現地調査したボランティア通りのような歩車道の縁石の段差が無い形式にしてほしい。</li> <li>・ バスレーンのバス待合い島の幅が狭い。</li> <li>・ バス待合い島の傾斜がきついので上れない。</li> <li>・ バス時刻表や系統図などの付属物によって、車いすの通行スペースが狭くなっている。</li> <li>・ 車道の横断勾配が車いすで渡るにはきつい。</li> <li>・ 歩道から沿道の商業施設に入る箇所も段差が無いようにスロープなどを考えてほしい。</li> <li>・ 歩道と自転車のレーンを分けても、モラルがないので歩道を自転車が通る。規制などが必要である。</li> </ul> <p>《山梨県身体障害者連合福祉会》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路の計画や現状の問題の改善について、私たち障害者の声を聞いて頂くことに感謝します。</li> <li>・ 身体障害者全体の立場からお願いしたいのは、視覚障害者の立場を第一に考えてほしい。</li> <li>・ 障害者は、危険だと感じるとその道は利用しない。</li> <li>・ 全てをバリアフリーにすることは無理である。心のやさしさ、人の心を育て、助け合える社会を作ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚障害者の意見も参考に、縁石の段差が無いような整備を検討する。</li> <li>・ バスレーンの設計において参考とする。</li> <li>・ 道路排水上必要な勾配もあるが、できる限り勾配を緩くなるよう検討する。</li> <li>・ 沿道商業施設管理者と協議しながら整備の際に参考とする。</li> <li>・ 公安委員会など関係機関と協議を進める。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助け合える社会を築くためにも、ユニバーサルデザインの目的など教育や啓蒙を進め「こころを育む」ことも大切であると考える。</li> </ul>	

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《山梨大学》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーの必要なところは、管理者が違ふところに発生している。各管理者の調整が大切だと考える。</li> <li>・バリアフリーは最低限の整備だという感覚を持つべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設管理者との調整を進めて、バリアーが発生しないように工夫する。</li> </ul> <p>昨年の現地調査を受けての今後の整備方針を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量が少ない細街路部（概ね幅員が4m以下）の交差点においては、歩道を連続する構造とする。</li> <li>・交差点部の歩車道の縁石については、 <ol style="list-style-type: none"> <li>①エスコートゾーンが設置されている。</li> <li>②点字ブロックが連続している。</li> <li>③交差点の注意を促す点状ブロックが設置されている。</li> </ol> これらの条件ができた場合は縁石の段差をゼロとすることができるが、縁石の形状等については、今後検討を進める。 </li> <li>・その他の場合は、これまでは、段差 2 cm の縁石であったが、1cm～3cmなどの縁石も今後検討していく。</li> <li>・歩車道の境界の縁石はこれまで 5 cm であったが、2 cm～5 cm の縁石とすることができる。</li> </ul> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな利用者の立場の貴重な意見が聞けて有意義であった。</li> <li>・現状の問題点や整備にあたって、これらの意見を参考に、現在進めている甲府駅南口修景計画に反映させていきたいと考えている。</li> </ul>	